

東京都立葛飾総合高等学校 令和8年度年間授業計画

教科 国語 科目 論理国語

教科：教科 国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～E組

教科担当者：(A組：宮良)(B組：奥田)(C組：奥田)(D組：宮良)(E組：奥田)

使用教科書：(論理国語(第一学習社))

教科 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

領域名：(書くこと、読むこと)

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
『人間という中心と、それよりも軽い命』 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉には言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。	・指導事項 語彙を増やし論理的に読む。 ・教材 『人間という中心と、それよりも軽い命』 ・一人1台端末の活用 等 課題の提出。		○	○	・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。	○	○	○	8
定期考査						○	○	○	1
『身体の個別性』 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。	・指導事項 論理の構成を理解して読む。 ・教材 『身体の個別性』 ・一人1台端末の活用 等 課題の提出。		○	○	・ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。	○	○	○	13
定期考査						○	○	○	1

